

No.	事業名	内容	総事業費	臨時交付金 充当額	効果検証
1	学生生活2020応援事業	町外で一人暮らしをしている町出身の学生等に5,000円相当の応援物資提供	96,000	96,000	コロナ禍において、帰郷できない学生に対し応援物資を提供することで、ふるさとを思い出してもらうことが可能となるとともに、営業休止等により売上げが落ち込んでいる地元生産者・企業を支援することができた。
2	花いっぱい2020応援事業	自粛要請等により花きの需要が激減する中、地方公共団体が花を買い取り、公共施設に提供	500,000	500,000	コロナ禍において、気持ちが落ち込んでいる利用者や施設職員のストレス緩和や生産性を高める効果が期待されるとともに、自粛要請等により需要が激減する花き生産農家を支援することができた。
3	地域の名産品魅力発信事業	地元特産品を地域内外に幅広くPRするための広告費	1,620,000	1,500,000	ふるさと納税の返礼品となっている特産品をPRすることで、ふるさと納税の寄附獲得に繋げることができ、特産品の生産者を支援することができた。
4	マイナポイント活用促進プレミアムポイント付与事業	マイナンバーカードを所持し、かつ、マイナポイント予約を行った方に対し、上限1,000ポイントを付与	2,100,000	2,100,000	マイナポイントに上乗せすることで、キャッシュレス社会の構築をさらに加速化することができ、さらに、落ち込んだ地域経済の回復を促すことができた。
5	子育て2020応援給付金事業	児童手当受給者に対し、国からの1万円給付に加え、さらに町独自支援として1万円を上乗せ	8,350,000	8,350,000	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯を支援することができた。
6	妊婦さん応援給付金	妊婦さんに対する支援金 (28人+16人) × 30,000円 = 1,320,000円	1,320,000	1,320,000	児童手当等の他の支援策の対象とならない妊婦さんを支援することで、家計の負担軽減を図ることができた。
7	必需物品供給事業	医療機関、介護施設及び住民等に対するマスク等の配布	2,259,133	2,221,000	医療機関や介護施設に対し、感染症予防品(消毒液等)を配布することで、感染症対策が図れた。
8	公共的空間安全・安心確保事業	公共施設に対する次亜塩素酸水、非接触式自動検温器、足踏み式アルコール消毒液スタンド等の設置	3,483,060	3,452,000	学校や保育園・幼稚園に消毒液等を配布することで、感染症対策が図れた。

9	防災活動支援事業	避難所への毛布・消毒液等の配布、行政区に対する感染防止物品の配布、デジタル無線機の購入	12,203,731	11,914,000	いつ起こるか分からない災害に備えるため、避難所へ避難用テント等を配備することで、避難所における感染症対策が図れた。
10	みんな2020エール商品券	プレミアム商品券発行	34,011,138	18,011,000	商品券を発行することで、コロナ禍において落ち込んだ地域経済の回復、さらには、住民生活の支援をすることができた。
11	学校給食費減免事業	給食費の免除（6月～8月の3か月）	12,988,700	6,168,000	学校の休業等により家計の負担が大きくなっている子育て世代の学校給食費の免除をすることで、家計の負担軽減が図れた。
12	子ども・子育て支援交付金	学校臨時休校措置に伴う放課後児童クラブ開所に係る経費の支援 国、県、町1/3	814,000	192,000	学校の臨時休校措置に伴う、平日午前からの放課後児童クラブ開所に係る支援を実施することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止が図れた。
13	PCR検査機器導入補助事業	西南医療センターに導入したPCR機器導入補助 五霞町と境町で負担	781,000	198,000	補助対象とならないPCR検査に伴う付属品を整備することで、新型コロナウイルス感染症対策に対する地域医療体制の強化が図れた。
14	集団健診予約業務	集団健診での三密を避けるために茨城県総合健診協会による完全予約制へと切り替える	386,155	386,000	集団検診を電話予約とすることで、接触機会の軽減が図れたとともに、予約制とすることで三密を避けることができ、感染症対策が図れた。
15	水害時一時避難場所整備事業	車中避難が可能な水害時一時避難場所の整備	13,580,380	13,580,000	自動車での避難ができる一時避難所を整備することで、自動車による避難が可能となり、車両自体が個室化し、不特定多数の避難者との接触を避けることができ、感染症対策が図れた。
16	道の駅ごか周辺整備事業	道の駅に隣接する調整池の塗装工事一式	16,551,700	16,300,000	道の駅の隣接地にある調整池を多目的広場として整備することで、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる道の駅ごかの集客回復・知名度アップ、さらには、コロナ後の地域経済の活性化に繋げることができた。

17	GIGAスクール構想整備事業	端末及びソフトウェアの整備	41,209,190	25,189,000	新型コロナウイルス感染拡大による学校の臨時休業に伴い、児童生徒の学びの保証や教育の機会均等の観点からICTを活用して家庭学習の推進を図ることができた。
18	修学旅行等補助事業	修学旅行等での三密を避けるためのバス増便	849,100	849,000	バスを増台することで、三密を回避することができ、感染症対策が図れたとともに、増台に伴う保護者負担を強いらず町が負担することで、子育て世代の負担軽減を図ることができた。
19	修学旅行等補助事業	五霞中3年生修学旅行キャンセル料	108,000	108,000	キャンセル料を町が負担することで、子育て世代の負担軽減が図れた。
20	学校給食費助成事業	町外の学校へ通学する小中学生の給食費を助成する	109,825	97,000	町外の学校に通っている子育て世代の学校給食費を助成することで、子育て世代の負担軽減が図れた。
21	児童生徒健康診断事業	健康診断日数の増加	180,000	84,000	実施日を増やすことで、三密を回避することができ、感染症対策が図れた。
22	公立学校熱中症対策事業	熱中症対策に伴うウォータークーラー設置	704,220	704,000	新型コロナウイルス感染症感染拡大によりマスク着用による生活が余儀なくされ、夏場には新型コロナウイルス感染症と熱中症の発生が危惧されたが、ウォーターサーバーを整備したことにより、常時冷たい水分を補給することが可能となり、熱中症の予防が図れた。
23	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	GIGAスクールのネットワーク環境施設整備	22,880,000	11,223,000	ネットワーク環境を強化したことにより、校内においてICTを活用した授業が行われたとしても快適に学習することができ、GIGAスクールの推進が図れた。
24	学校臨時休業対策費補助金	臨時休校に伴う学校給食の廃棄した食材費	467,597	117,000	臨時休校で中止となった給食の廃棄分の食材費について、契約している学校給食関係業者へ損失分を補填することで、学校再開後の学校給食を円滑に実施することができた。

25	障害者総合支援事業費補助金	特別支援学校の臨時休校に伴う放課後等のデイサービス支援費補助	34,000	8,000	新型コロナウイルス感染拡大により、特別支援学校が臨時休校となり、放課後等のデイサービスや代替サービスを利用しなければならなくなったが、利用者を補助することで、負担軽減が図れた。
26	庁舎等施設空調機整備事業	感染機会の削減を図るために定期的な換気を行っている執務室に既存の機能を上回る空調機を整備する	2,056,120	2,056,000	新型コロナウイルス感染症感染拡大によりマスク着用による生活が余儀なくされ、夏場には新型コロナウイルス感染症と熱中症の発生が危惧されたが、老朽化した空調機を改修したことにより、温度を一定に保ちながら効率的に換気を行うことが可能となり、熱中症の予防、さらには、マスク着用による新型コロナウイルス感染症予防と両面で効果があった。
27	庁内電算システム整備事業	オンライン会議対策としての環境整備	3,843,840	3,843,000	ネット環境を整備することで、オンライン会議へ出席することが可能となり、研修・会議における感染症対策が図れた。

28	予防接種事業	インフルエンザ助成金上乘せ	2,152,000	2,152,000	インフルエンザの予防接種に係る補助金へ上乘せ補助することで、新型コロナウイルス感染症と秋から冬にかけて流行するインフルエンザの同時流行を防ぐができた。
29	多目的集会センター感染防止対策整備事業	多目的集会センターの感染防止対策として事務所を改修	1,200,000	1,200,000	事務室を改修することで、図書を改修した事務室へ移すことができ、現在の書庫を事務室として活用することが可能となり、三密を回避することができた。
30	公園整備事業	感染収束後のための公園整備	18,128,000	15,726,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や施設の利用制限などで、運動機会の減少やストレスの蓄積につながっている中、三密対策が比較的取りやすい公園について、樹木の剪定・伐採・抜根をして運動するスペースや子供たちが遊ぶ環境を整備することで、利用者の安全を確保するとともに健康増進を図ることができた。
32	学校給食地元産材活用支援事業	地元産材を活用した学校給食の提供	252,027	252,000	県産の牛肉を学校給食に使用することで、給食献立の内容充実を図るとともに、生産者の経営安定を図ることができた。
33	中央公民館網戸設置事業	換気のための網戸設置	392,843	392,000	新型コロナウイルス感染症により定期的な換気は感染症対策に有効である。そのため、網戸を整備することで、定期的な換気が可能となり、感染症対策が図れた。
34	学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策等の学校教育活動継続支援	2,645,253	1,200,000	各学校へ感染症対策品を整備することで、感染症対策が図れたとともに、夏季休業期間短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、ICT研修を実施することで、資質能力の向上を図ることができた。

208,257,012

151,488,000